

I 2013（平成 25）年度「大学評価」の結果について

(1) 大学基準協会の大学評価

本協会の大学評価は、「会員の自主的努力と相互的援助によって、わが国における大学の質的向上を図る」(公益財団法人 大学基準協定会款第3条)ことを目的として行われます。より具体的には、

- ① 本協会が定める大学基準に基づき大学の諸側面を包括的に評価することを通じて、大学の教育・研究活動等の質を社会に対し保証すること。
- ② 大学評価の結果の提示ならびにその後の改善報告書の提出およびその検討というアフターケアを通じて、申請大学に設置される学部・研究科等を含む大学全体の改善を継続的に支援するという目的のもと行っています。

特に、社会に対して保証する「大学の質」については、当該大学が自身の掲げる理念や目的の達成に向けた活動を行っていること、自己点検・評価活動を改善へと結びつけ、自己改善を進めていくシステムが機能していること、の2点を重視しています。

このため、いくつかの問題が認められるときには、大学基準に適合していると認定するものの、その適合認定の期間に制限を設ける期限付適合と判定し、その後の改善努力と成果を確認する場合があります。

大学評価における期限付適合の期間は3年間とし、その間のいずれかの年度に、期限付適合の原因となった事項について再評価を受けることが必要です。本協会は、当該問題事項の改善状況を評価し、大学基準への適合について改めて判定を行います。

また、不適合の判定となった場合、翌年度または翌々年度のいずれかの年度に、不適合の原因となった事項について追評価を申請することができます。

なお、本協会が2004(平成16)年に「認証評価機関」として文部科学大臣に認証されたことにより、本協会の大学評価を受けた大学は、学校教育法に基づく「認証評価」を受けたこととなります。

(2) 大学評価および再評価の組織体制

2012(平成24)年度の大学評価および再評価においては、申請大学に対応して次のような組織体制を整え、具体的な審査・評価活動を行いました。

まず、「大学評価」の中心となる大学評価委員会(委員30名、幹事4名、特別大学評価員1名)の下に、39の大学評価分科会と1の大学財務評価分科会を設置しました。

大学評価委員会において、委員は本協会正会員校から推薦された候補者、理事会の推薦による者、外部有識者の中から理事会が選出した者によって構成されています。幹事は大学評価委員会の推薦により、理事会で選出しており、大学評価分科会の運営を補佐するとともに、評価結果の原案を作成する役割を担っています。特別大学評価員は理事会で選出しており、幹事の役割に加えて事務局が行うような実務的役割も担っています。

大学評価分科会は、各大学の財務を除く諸活動全体を評価することを目的とし、1大学につき1つ設置されています。構成は主査と大学の規模・学部数などに応じた3人～9人

の評価委員、幹事、特別大学評価員などからなっています。

大学財務評価分科会（主査・委員あわせて12名）においては、大学財務評価の指標や方法の検討を行うとともに、分科会の下部に9の部会を設け、そこで評価された内容の調整を行いました。具体的には公立大学（法人）については、申請4大学に対して国・公立大学部会（メンバーは主査・委員あわせて5名）を設置して、評価を行い、私立大学については、申請35大学を8グループに分け、それぞれ設置する学部の種類に対応して私立大学部会（メンバーは主査・委員あわせて24名）を設置し、分担して評価を行いました。

また、2010（平成22）年度の大学評価（認証評価）において判定を保留した大学の「再評価」を実施するために、大学評価委員会の下に、1の再評価分科会を設置しました。再評価分科会では、7名の主査・委員が2010（平成22）年度の大学評価（認証評価）の結果、「保留」の判定となった6大学の再評価を行いました。

したがって、2013（平成25）年度の大学評価は、延べ288名の委員と4名の幹事、1名の特別大学評価員がかかわって行ったこととなります（大学評価の組織体制については【資料1】、各委員会ならびに分科会、部会等の名簿については【資料2】参照）。

(3) 2013（平成25）年度 大学評価（認証評価）への申請大学

(私立) 愛知医科大学	(私立) 椋山女学園大学
(私立) 愛知学院大学	(私立) 仙台白百合女子大学
(私立) 石巻専修大学	(私立) 大正大学
(私立) 茨城キリスト教大学	(私立) 東京薬科大学
(私立) 岩手医科大学	(私立) 東京理科大学
(私立) 大阪医科大学	(私立) 同志社大学
(私立) 岡山理科大学	(公立) 鳥取環境大学
(私立) 沖縄大学	(私立) 南山大学
(私立) 関西学院大学	(私立) 新潟リハビリテーション大学
(私立) 関東学院大学	(私立) 二松学舎大学
(公立) 岐阜薬科大学	(私立) 福岡歯科大学
(私立) 近大姫路大学	(私立) 福岡女学院看護大学
(私立) 久留米大学	(私立) 福山大学
(私立) 工学院大学	(私立) 文京学院大学
(私立) 甲南大学	(私立) 松山大学
(私立) 駒沢大学	(公立) 三重県立看護大学
(私立) 産業医科大学	(公立) 宮城大学
(私立) 四国大学	(私立) 龍谷大学
(私立) 自治医科大学	(私立) 早稲田大学
(私立) 実践女子大学	(大学名五十音順)

(4) 大学評価の経過

① 書面による評価

上記分科会にかかわる主査・委員は、評価者研修セミナーに参加した後、各大学の自己点検・評価の結果をとりまとめた点検・評価報告書および大学基礎データ、その他の根拠資料をもとに自らの評価所見をまとめ、それぞれの分科会に臨みました。各大学評価分科会では、各委員の評価所見をもとに主査あるいは委員が分担執筆した大学評価分科会報告書（原案）をもとに書面による評価を行い、その結果を主査あるいは委員が分担執筆して大学評価分科会報告書（案）として取りまとめました。

② 大学評価における実地調査の実施

各分科会における書面評価終了後に大学評価申請のあった 39 大学のすべてに対して実地調査を実施しました。

実地調査の目的は、十分な資料・情報等を収集し、評価の正確性を期すことにあります。2011（平成 23）年度から新大学評価システムに移行したことに伴い、今年度も実地調査を 2 日間かけて行いました。具体的には、書面評価の過程で発生した疑問点に関する質疑応答を行うとともに、大学全体での意見交換に加え、教職員個別の意見交換の時間を設け、大学と評価者間での十分なディスカッションを行いました。また、書面のみでは把握の難しかった施設・設備の状況などを実際に確認しました。さらに、各分科会の大学評価分科会報告書（案）をあらかじめ当該大学に提示し、実地調査の際に同案の記載内容についての確認の機会を設けました。あわせて学生インタビューや授業参観も行い、実地調査の実効性を高めることに努めました。

③ 大学評価委員会における評価結果（案）の作成

実地調査等の結果を反映させたうえで提出された各分科会の大学評価分科会報告書（最終版）をもとに、大学評価委員会正・副委員長・幹事会で作成した「評価結果」（委員長案）を大学評価委員会で審議し、委員会としての評価結果（委員会案）を作成しました。その後、同委員会案を当該大学に送付しました。

評価結果（委員会案）を受け取った大学は、事実誤認等があった場合、同委員会案に対して「意見申立」を行うことができます。今年度は、大学評価申請 39 大学中 26 大学から意見申立がなされました。大学評価委員会では、申請大学から提出された資料を中心に事実誤認の有無と意見申立の適否を審議し、評価結果（委員会案）に対して必要な修正を行いました。

④ 理事会による評価結果の承認

大学評価委員会が作成した評価結果（案）については、2014（平成 26）年 3 月 11 日開催の理事会に諮りました。その結果、2013（平成 25）年度に大学評価を申請した 39 大学すべての大学の評価結果について承認を得、本年度の大学評価が終了しました。

なお、2013（平成 25）年度に大学評価を受けた大学の評価結果の詳細内容については、「Ⅱ 各申請大学に対する評価結果」をご参照ください。

⑤ 異議申立審査会による異議申立審査報告書(案)の作成

大学評価の結果、大学基準に適合していないと判定された大学は、その判定の基礎となる事実と誤認がある場合、「異議申立」を行うことができます。今年度は、大学基準に適合していないと判定した1大学から、3月18日付文書にて異議申立がなされました。これを受け、異議申立審査会では、申請大学から提出された異議申立理由を基に事実誤認の有無と異議申立の採否を審議し、異議申立審査報告書(案)を作成しました。

⑥ 理事会による異議申立審査報告書及び評価結果の承認

異議申立審査会による異議申立審査報告書(案)については、2014(平成26)年7月18日開催の第487回理事会に諮りました。その結果、異議申立審査報告書は承認され、評価結果の一部修正を行うこととしました。

修正された評価結果は申請大学に送付するとともに社会に公表し、文部科学大臣に報告します。

(5) 大学評価結果の概要

2013(平成25)年度に大学評価(認証評価)を申請した39大学中、下記の38大学について大学基準に適合していると認定しました。

① 大学評価(認証評価)の結果、大学基準への適合認定を行った大学

(私立) 愛知医科大学	(私立) 自治医科大学
(私立) 愛知学院大学	(私立) 椙山女学園大学
(私立) 石巻専修大学	(私立) 仙台白百合女子大学
(私立) 茨城キリスト教大学	(私立) 大正大学
(私立) 岩手医科大学	(私立) 東京薬科大学
(私立) 大阪医科大学	(私立) 東京理科大学
(私立) 岡山理科大学	(私立) 同志社大学
(私立) 沖縄大学	(公立) 鳥取環境大学
(私立) 関西学院大学	(私立) 南山大学
(私立) 関東学院大学	(私立) 新潟リハビリテーション大学
(公立) 岐阜薬科大学	(私立) 二松学舎大学
(私立) 近大姫路大学	(私立) 福岡歯科大学
(私立) 久留米大学	(私立) 福岡女学院看護大学
(私立) 工学院大学	(私立) 文京学院大学
(私立) 甲南大学	(私立) 松山大学
(私立) 駒沢大学	(公立) 三重県立看護大学
(私立) 産業医科大学	(公立) 宮城大学
(私立) 四国大学	(私立) 龍谷大学
(私立) 実践女子大学	(私立) 早稲田大学

(大学名五十音順)

② 大学基準への適合認定を行った大学に対する提言

以上の 38 大学には、それぞれの一層の改善充実のため、本協会として「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」等の提言を付しています。

「長所として特記すべき事項」を付した大学は 36 大学、「改善勧告」を付した大学は 22 大学、「努力課題」を付した大学は 37 大学となりました。各指摘は、それぞれの大学からの申請資料に基づく書面評価や実地調査の結果に加え、前述の意見申立等による当該大学からの意見を参考に、実態に即した指摘となるよう留意しました。

「改善勧告」や「努力課題」を付された大学は、それぞれの指摘にかかわる改善状況について、改善報告書を取りまとめ、原則として 2017（平成 29）年 7 月末までに、これを本協会宛に提出することになります。

③ 大学評価（認証評価）の結果、不適合と判定した大学に対する提言

一方、2013（平成 25）年度に大学評価を申請した 39 大学中 1 大学（福山大学）については、「大学基準」に適合していないと判定されました。

不適合と判定した大学に対しては、「必ず実現すべき改善事項」「一層の改善が期待される事項」で構成される「大学に対する提言」を付すとともに、2015（平成 27）年までのいずれかの年度に追評価を申請できる旨を通知しました。

(6) 改善報告書について

前述のとおり、本協会では、大学評価の結果、大学基準に適合している旨の認定を受けた大学に対して、必要に応じて「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」を付しています。「改善勧告」を付された大学は、これに誠実に対応し、早急に改善措置を講じる必要があります。また、「努力課題」を付された大学は、問題点として指摘された事項について十分に検討し、一層の改善に努める必要があります。

「改善勧告」もしくは「努力課題」が付された大学は、それらの事項について本協会が指定する期日までに改善報告書を提出することになっています。この「改善報告書」の制度は、本協会の大学評価の特色のひとつであり、改善報告書の評価を通じて、大学の改善・改革を継続的に支援するための重要なシステムです。

(7) 2013（平成 25）年度 再評価申請大学

(私立) 愛知文教大学

(私立) 大阪学院大学

(私立) 神戸医療福祉大学

(私立) 第一薬科大学

(私立) 日本経済大学

(私立) 弘前学院大学

(大学名五十音順)

(8) 再評価の経過

① 書面による評価ならびに大学評価委員会における再評価結果（案）の作成

本協会では、2010（平成 22）年度の大学評価（認証評価）において判定を保留した上記 3 大学に対し、2013（平成 25）年 6 月末までに、「必ず実現すべき改善事項」「一層の改善が期待される事項」などで構成される「大学に対する提言」を踏まえた改善結果を報告するよう要請しました。これを受けて、当該大学から提出された再評価改善報告書をもとに、再評価分科会において、報告書の検討と当該大学に対して必要に応じ、実地調査やヒアリングを行い、再評価結果（原案）を取りまとめました。その後、大学評価委員会正・副委員長・幹事会で作成した再評価結果（委員長案）を大学評価委員会において、慎重に審議し、再評価結果（委員会案）を作成し、同委員会案を当該大学に送付しました。

再評価結果（委員会案）を受け取った大学は、事実誤認等があった場合、同委員会案に対して「意見申立」を行うことができます。今年度は 4 大学から意見申立があり、大学評価委員会において、大学から提出された資料をもとに事実誤認の有無と意見申立の適否を審議し、評価結果（委員会案）に対して必要な修正を行いました。

② 理事会による評価結果の承認

意見申立の手続きにより必要な修正を行った再評価結果（案）については、2014（平成 26）年 3 月 11 日開催の理事会に諮りました。その結果、2013（平成 25）年度に再評価を行った 6 大学の評価結果は承認されました。

なお、2013（平成 25）年度に再評価を受けた大学の再評価結果の詳細内容については、「Ⅱ 各申請大学に対する再評価結果」をご参照ください。

③ 異議申立審査会による異議申立審査報告書（案）の作成

再評価の結果、大学基準に適合していないと判定された大学は、大学評価と同様に、「異議申立」を行うことができます。今年度は、大学基準に適合していないと判定した 3 大学から、3 月 26 日付文書にて異議申立がなされました。これを受け、異議申立審査会では、申請大学から提出された異議申立理由を基に事実誤認の有無と異議申立の採否を審議し、異議申立審査報告書（案）を作成しました。

④ 理事会による異議申立審査報告書及び評価結果の承認

異議申立審査会による異議申立審査報告書（案）については、2014（平成 26）年 7 月 18 日開催の第 487 回理事会に諮りました。その結果、異議申立審査報告書は承認され、評価結果の一部修正を行うこととしました。

修正された評価結果は再評価申請大学に送付するとともに社会に公表し、文部科学大臣に報告します。

(9) 再評価の経過

① 再評価の結果、大学基準への適合認定を行った大学

(私立) 大阪学院大学

(私立) 弘前学院大学

(大学名五十音順)

② 再評価の結果、不適合と判定した大学に対する提言

一方、2013（平成 25）年度に大学評価を申請した 6 大学中 4 大学（愛知文教大学、神戸医療福祉大学、第一薬科大学、日本経済大学）については、「大学基準」に適合していないと判定されました。

不適合と判定した大学に対しては、「必ず実現すべき改善事項」「一層の改善が期待される事項」で構成される「提言」を付すとともに、2015（平成 27）年までのいずれかの年度に追評価を申請できる旨を通知しました。

(10) 追評価について

大学評価の結果、「不適合」と判定された大学は、その原因となった事項について、追評価を受けることができます。今年度は申請がございませんでしたので、追評価分科会を開催いたしませんでした。

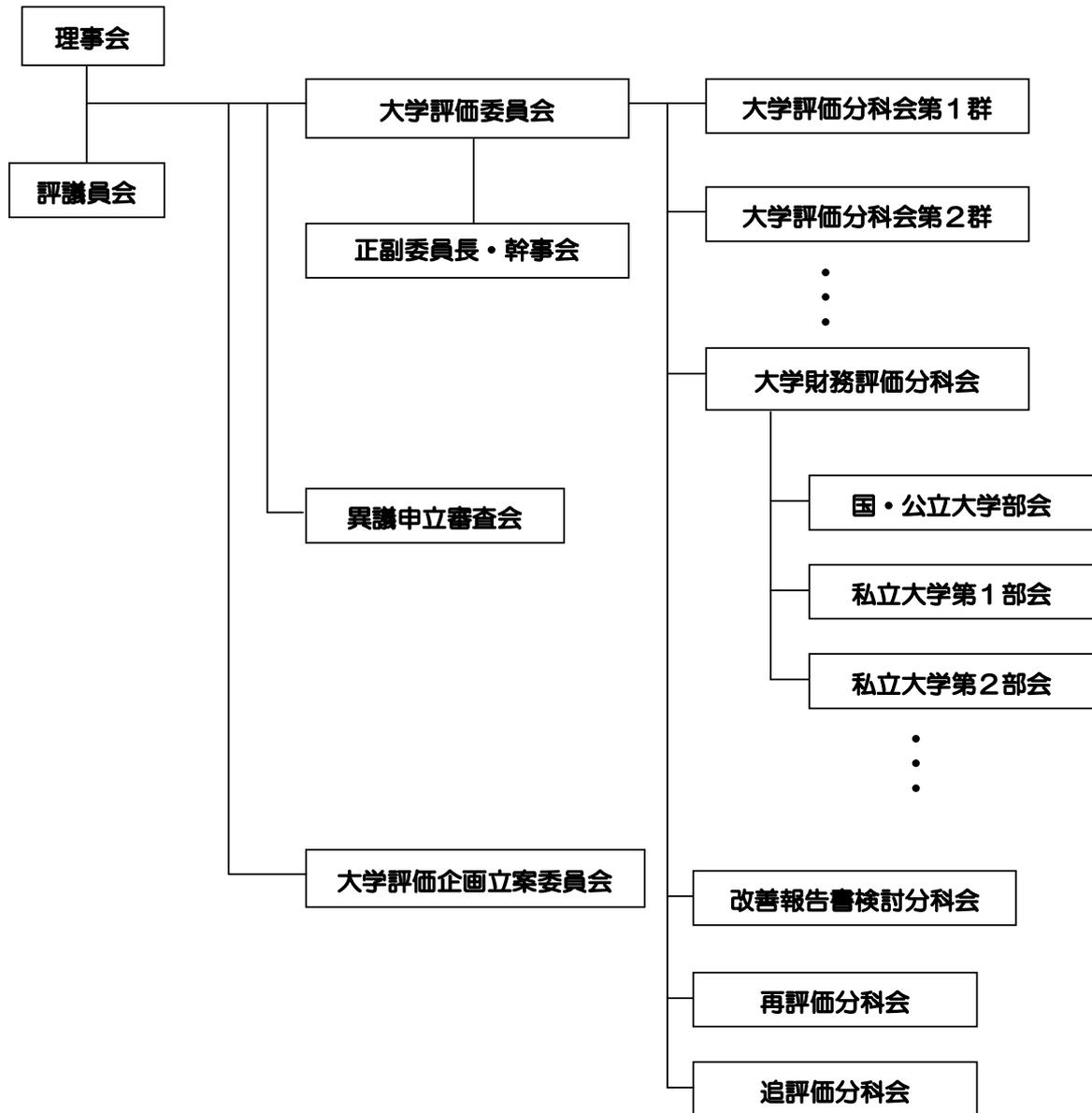
(11) 大学基準協会の評価の充実に向けて

多角的な大学評価システムが誕生しつつある中、2004（平成 16）年度より認証評価制度が開始されたことも踏まえ、現在、本協会は、これまで培ってきた実績をもとに、透明性・公正性の高い「第三者評価機関」として中心的な役割を果たすべく、大学評価システムの改善・充実に取り組んでいます。とりわけ、2011（平成 23）年度から、認証評価制度が第 2 期目を迎えたことを機に、これまでの「自己点検・評価の実施」から、大学自ら質を保証し、向上させるための継続的な努力とそれを社会一般に対していかに説明・証明しているのか、という「内部質保証システム」の構築と有効性を重視した新たな評価システムへと移行しました。また、評価基準の体系化、書面評価の方法や実地調査の充実ははじめとする評価プロセスについても見直し、改善を図るとともに、さまざまな検討を重ねています。

今後とも、大学基準協会は、社会の期待に応える大学評価を発展させる努力を行ってまいります。何とぞご支援いただきますようお願いいたします。

資 料 編

大学評価組織体制図



【資料2】

平成25年度 大学評価関係委員会等 名簿

(平成26年3月11日現在)

平成25年度 大学評価委員会 名簿

役名	氏名	所属名
委員長	圓 月 勝 博	同志社大学
副委員長	清 水 一 彦	筑波大学
委員	浅 野 考 平	関西学院大学
委員	新 井 泰 彦	関西大学
委員	有 馬 利 男	富士ゼロックス株式会社
委員	井 出 利 憲	愛媛県立医療技術大学
委員	伊 藤 智 夫	北里大学
委員	小 野 祥 子	東京女子大学
委員	岸 本 喜 久 雄	東京工業大学
委員	木 村 彰 方	東京医科歯科大学
委員	木 村 雄 二	工学院大学
委員	久 保 猛 志	金沢工業大学
委員	小 林 洋 司	東京都立桜修館中等教育学校
委員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委員	鈴 木 正 誠	元株式会社NTTコミュニケーションズ
委員	関 内 隆	東北大学
委員	土 井 健 史	大阪大学
委員	當 瀬 規 嗣	札幌医科大学
委員	西 村 太 良	慶應義塾大学
委員	西 村 靖 敬	千葉大学
委員	浜 村 彰	法政大学
委員	原 田 久	立教大学
委員	福 宮 賢 一	明治大学
委員	藤 村 正 司	広島大学
委員	松 井 徹	京都大学
委員	松 山 倫 也	九州大学

役名	氏名	所属名
委員	水 谷 工	読売新聞大阪本社
委員	山 崎 志 郎	首都大学東京
委員	吉 岡 俊 正	東京女子医科大学
委員	藁 谷 友 紀	早稲田大学
幹事	川 崎 友 嗣	関西大学
幹事	半 田 勝 久	東京成徳大学
幹事	堀 井 祐 介	金沢大学
幹事	横 井 和 彦	同志社大学
特別大学評価委員	大 澤 慶 子	公益財団法人 大学基準協会

平成25年度 大学評価委員会 大学評価分科会 名簿

第 1 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	木 村 彰 方	元東京医科歯科大学
委員	植 田 喜 久 子	日本赤十字広島看護大
委員	黒 木 政 秀	福岡大 学
委員	遠 藤 尚 光	北 里 大 学

第 2 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	西 村 太 良	慶 應 義 塾 大 学
委員	天 野 富 美 夫	大 阪 薬 科 大 学
委員	桐 木 建 始	広 島 女 学 院 大 学
委員	中 井 伊 都 子	甲 南 大 学
委員	濱 田 弘 樹	釧 路 公 立 大 学
委員	前 田 伸 子	鶴 見 大 学
委員	佛 坂 公 子	法 政 大 学

第 3 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	岸 本 喜 久 雄	東 京 工 業 大 学
委員	青 田 浩 幸	関 西 大 学
委員	徳 前 元 信	福 井 県 立 大 学
委員	金 刺 信 一	立 教 大 学

第 4 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	長 谷 川 信	青 山 学 院 大 学
委員	赤 井 孝 雄	杏 林 大 学
委員	北 山 秋 雄	長 野 県 看 護 大 学
委員	西 村 公 雄	同 志 社 女 子 大 学
委員	中 村 和 己	京 都 橘 大 学

第 5 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	伊 藤 智 夫	北 里 大 学
委員	黒 木 由 夫	札 幌 医 科 大 学
委員	田 中 昭 男	大 阪 歯 科 大 学
委員	中 島 茂	近 畿 大 学

第 6 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	吉 岡 俊 正	東 京 女 子 医 科 大 学
委員	中 垣 紀 子	静 岡 県 立 大 学
委員	菱 沼 昭	獨 協 医 科 大 学
委員	大 工 原 孝	日 本 大 学

第 7 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	松 山 倫 也	九 州 大 学
委員	旭 耕 一 郎	東 京 工 業 大 学
委員	柴 崎 和 夫	國 學 院 大 学
委員	菅 原 光 政	岩 手 県 立 大 学
委員	三 上 明 義	金 沢 工 業 大 学
委員	田 中 秀 和	麻 布 大 学

第 8 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	石 澤 末 三	帝 塚 山 大 学
委員	岡 崎 祐 司	佛 教 大 学
委員	權 島 博 志	東 北 大 学
委員	佐 藤 吉 孝	学 習 院 大 学

第 9 群

役名	氏名	大学名
主査	外池力	明治大学
委員	阿部裕二	東北福祉大学
委員	梅村坦	中央大学
委員	大高泉	筑波大学
委員	勝俣好充	長崎純心大学
委員	菊池道樹	法政大学
委員	中江桂子	成蹊大学
委員	吉塚和治	北九州市立大学
委員	我妻学	首都大学東京
委員	伊豆一男	青山学院大学
幹事	堀井祐介	金沢大学

第 11 群

役名	氏名	大学名
主査	井出利憲	愛媛県立医療技術大学
委員	見尾光庸	就実大学
委員	向智里	金沢大学
委員	笹井博見	福井県立大学

第 13 群

役名	氏名	大学名
主査	竹村牧男	東洋大学
委員	網倉久永	上智大学
委員	安藤明人	武庫川女子大学
委員	岡田信弘	北海道大学
委員	吉田謙一郎	獨協医科大学
委員	栗原伸治	広島修道大学
幹事	大澤慶子	大学基準協会

第 15 群

役名	氏名	大学名
主査	藁谷友紀	早稲田大学
委員	石田仁志	東洋大学
委員	千葉貴律	明治大学
委員	中村芳昭	青山学院大学
委員	平栗健二	東京電機大学
委員	辺見一男	長崎県立大学
委員	平山崇	西南学院大学

第 10 群

役名	氏名	大学名
主査	新井泰彦	関西大学
委員	池本良子	金沢大学
委員	石堂淳	岩手県立大学
委員	佐藤伸明	神戸学院大学
委員	千葉敦	常磐大学
委員	小林慎一	京都産業大学

第 12 群

役名	氏名	大学名
主査	北村和夫	聖心女子大学
委員	中村恵子	札幌市立大学
委員	松岡尚敏	宮城教育大学
委員	磯貝昭夫	高崎健康福祉大学

第 14 群

役名	氏名	大学名
主査	久保猛志	金沢工業大学
委員	河村良行	福岡工業大学
委員	日比野靖	北陸先端科学技術大学院大学
委員	小川秀治	関西学院大学

第 16 群

役名	氏名	大学名
主査	浅野考平	関西学院大学
委員	今泉博国	福岡大学
委員	橋本佳幸	京都大学
委員	平岡聡	京都文教大学
委員	増田大三	近畿大学
委員	森浩一	茨城県立医療大学
委員	日野哲	東北学院大学

第 17 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	當 瀬 規 嗣	札幌医科大学
委員	岡 島 康 友	杏 林 大 学
委員	田 代 順 子	聖路加看護大学
委員	島 貫 憲 夫	東 海 大 学

第 19 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	進 藤 千 代 彦	東 北 大 学
委員	石 川 秀 也	北海道医療大学
委員	梅 博 久	金 沢 医 科 大 学
委員	山 村 昌 次	福 岡 大 学

第 21 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	小 野 祥 子	東 京 女 子 大 学
委員	遠 藤 俊 子	京 都 橘 大 学
委員	大 内 和 子	いわき明星大学
委員	坂 井 堅 太 郎	広島女学院大学
委員	福 田 誠 治	都 留 文 科 大 学
委員	花 嶋 と み 子	神 奈 川 大 学

第 23 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	戸 田 洋 樹	駒 沢 女 子 大 学
委員	加 来 雄 之	大 谷 大 学
委員	北 林 利 治	京 都 橘 大 学
委員	半 藤 英 明	熊 本 県 立 大 学
委員	西 川 光 俊	大 阪 産 業 大 学

第 18 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	公 文 溥	法 政 大 学
委員	大 曲 勝 久	長 崎 県 立 大 学
委員	深 津 睦 夫	皇 學 館 大 学
委員	湯 本 敦 子	獨 協 医 科 大 学
委員	落 合 英 樹	白 百 合 女 子 大 学

第 20 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	吉 澤 結 子	秋 田 県 立 大 学
委員	吉 海 直 人	同 志 社 女 子 大 学
委員	渡 邊 孝 憲	常 磐 大 学
委員	長 谷 川 順 子	佛 教 大 学

第 22 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	小 山 高 正	日 本 女 子 大 学
委員	後 藤 昌 弘	神 戸 女 子 大 学
委員	横 山 正 博	山 口 県 立 大 学
委員	関 口 正 美	津 田 塾 大 学

第 24 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	土 井 健 史	大 阪 大 学
委員	稲 垣 直 樹	岐 阜 薬 科 大 学
委員	辻 坊 裕	大 阪 薬 科 大 学
委員	難 波 一 安	神 戸 学 院 大 学

第 25 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	福 宮 賢 一	明 治 大 学
委員	於 保 幸 正	広 島 大 学
委員	高 倉 秀 行	立 命 館 大 学
委員	竹 村 泰 司	横 浜 国 立 大 学
委員	野 口 博 司	静 岡 県 立 大 学
委員	古 川 靖 洋	関 西 学 院 大 学
委員	村 瀬 篤	京 都 産 業 大 学
委員	西 村 豊	龍 谷 大 学
幹事	川 崎 友 嗣	関 西 大 学

第 26 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	浜 村 彰	法 政 大 学
委員	明 石 欽 司	慶 應 義 塾 大 学
委員	石 川 鉄 郎	中 央 大 学
委員	岡 本 治 正	学 習 院 大 学
委員	神 田 雄 一	東 洋 大 学
委員	斉 藤 尚 文	中 京 大 学
委員	福 田 幸 男	横 浜 国 立 大 学
委員	村 田 裕 志	成 城 大 学
委員	山 本 幸 一	明 治 大 学
幹事	半 田 勝 久	東 京 成 徳 大 学

第 27 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	山 崎 志 郎	首 都 大 学 東 京
委員	小 澤 伸 光	駿 河 台 大 学
委員	高 村 民 雄	千 葉 大 学
委員	大 坪 成 生	名 古 屋 市 立 大 学

第 28 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	藤 村 正 司	広 島 大 学
委員	飯 島 淳 一	東 京 工 業 大 学
委員	大 月 実	大 東 文 化 大 学
委員	清 水 康 行	日 本 女 子 大 学
委員	竹 下 公 視	関 西 大 学
委員	林 智 良	大 阪 大 学
委員	羽 田 一 男	中 央 大 学

第 29 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	須 藤 賢 一	高 崎 健 康 福 祉 大 学
委員	小 倉 泉	首 都 大 学 東 京
委員	小 浦 誠 吾	九 州 保 健 福 祉 大 学
委員	齋 藤 真 左 樹	日 本 福 祉 大 学

第 30 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	前 田 早 苗	千 葉 大 学
委員	朝 比 奈 英 夫	京 都 光 華 女 子 大 学
委員	山 神 進	立 命 館 ア ジ ア 太 平 洋 大 学
委員	山 川 秀 人	聖 学 院 大 学

第 31 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	川 添 堯 彬	大 阪 歯 科 大 学
委員	天 野 敦 雄	大 阪 大 学
委員	出 口 眞 二	神 奈 川 歯 科 大 学
委員	瀧 川 孝	鶴 見 大 学

第 32 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	守 田 美 奈 子	日 本 赤 十 字 看 護 大 学
委員	中 村 美 鈴	自 治 医 科 大 学
委員	野 村 美 千 江	愛 媛 県 立 医 療 技 術 大 学
委員	樋 田 孝 史	杏 林 大 学

第 33 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	原 田 久	立 教 大 学
委員	宇 野 文 二	岐 阜 薬 科 大 学
委員	国 吉 光	東 京 電 機 大 学
委員	吉 川 茂	阪 南 大 学
委員	米 山 祐 司	北 海 道 大 学
委員	高 木 範 夫	早 稲 田 大 学

第 35 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	西 村 靖 敬	千 葉 大 学
委員	瀧 澤 仁 唱	桃 山 学 院 大 学
委員	日 比 野 康 英	城 西 大 学
委員	柳 井 雅 人	北 九 州 市 立 大 学
委員	立 岡 幸 一	成 城 大 学

第 37 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	松 井 徹	京 都 大 学
委員	田 中 マ キ 子	山 口 県 立 大 学
委員	長 谷 川 幸 一	常 磐 大 学
委員	松 添 直 隆	熊 本 県 立 大 学
委員	加 藤 洋 子	首 都 大 学 東 京

第 39 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	関 内 隆	東 北 大 学
委員	上 野 隆 三	立 命 館 大 学
委員	太 田 哲 男	同 志 社 大 学
委員	櫻 見 由 美 子	金 沢 大 学
委員	竹 脇 出	京 都 大 学
委員	御 園 謙 吉	阪 南 大 学
委員	矢 倉 達 夫	関 西 学 院 大 学
委員	山 本 展 雅	東 北 学 院 大 学
委員	米 澤 義 衛	青 山 学 院 大 学
委員	立 仙 和 彦	関 西 大 学
幹事	大 澤 慶 子	大 学 基 準 協 会

第 34 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	藤 井 一 弘	青 森 公 立 大 学
委員	神 先 秀 人	山 形 県 立 保 健 医 療 大 学
委員	堀 川 徹	京 都 外 国 語 大 学
委員	山 田 啓 一	中 村 学 園 大 学
委員	古 角 智 子	大 谷 大 学

第 36 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	黒 田 裕 子	北 里 大 学
委員	大 日 向 輝 美	札 幌 医 科 大 学
委員	武 田 利 明	岩 手 県 立 大 学
委員	山 根 清	広 島 大 学

第 38 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	木 村 雄 二	工 学 院 大 学
委員	今 里 佳 奈 子	愛 知 大 学
委員	永 井 博 史	近 畿 大 学
委員	喜 多 英 治	筑 波 大 学
委員	宗 宮 喜 代 子	岐 阜 聖 徳 学 園 大 学
委員	田 中 久 夫	高 崎 経 済 大 学
委員	花 田 昌 宣	熊 本 学 園 大 学
委員	矢 嶋 美 都 子	亜 細 亜 大 学
委員	佐 久 間 孝 行	東 洋 大 学
幹事	横 井 和 彦	同 志 社 大 学

平成25年度 大学財務評価分科会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	徳 安 彰	法 政 大 学
委員	井 倉 博	学 校 法 人 近 畿 大 学
委員	岡 本 博 志	北 九 州 市 立 大 学
委員	後 藤 明 夫	学 校 法 人 北 里 研 究 所
委員	佐 野 慶 子	佐 野 公 認 会 計 士 事 務 所
委員	杉 崎 正 彦	学 校 法 人 國 學 院 大 学
委員	橘 昇	学 校 法 人 工 学 院 大 学
委員	徳 田 守	学 校 法 人 金 沢 工 業 大 学
委員	鳥 井 幸 雄	学 校 法 人 早 稲 田 大 学
委員	永 和 田 隆 一	学 校 法 人 神 奈 川 大 学
委員	平 井 雪 恵	学 校 法 人 立 教 学 院
委員	松 本 香	公 認 会 計 士 松 本 香 事 務 所

平成25年度 大学財務評価分科会 国・公立大学部会名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	岡 本 博 志	北 九 州 市 立 大 学
委員	加 賀 谷 次 朗	筑 波 大 学
委員	白 崎 賢 治	札 幌 医 科 大 学
委員	福 田 直 史	高 知 工 科 大 学
委員	山 田 幸 太 郎	山 田 公 認 会 計 士 事 務 所

平成25年度 大学財務評価分科会 私立大学部会名簿

第 1 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	井 倉 博	学校法人近畿大学
委員	山 本 尚 明	学校法人慶應義塾
委員	波 多 野 隆 一	学校法人獨協学園

第 2 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	後 藤 明 夫	学校法人北里研究所
委員	高 橋 一 夫	学校法人日本大学
委員	白 石 明	学校法人福岡大学

第 3 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	徳 田 守	学校法人金沢工業大学
委員	菅 野 治 男	青山学院大学
委員	坂 本 康 浩	学校法人 関西大学

第 4 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	永 和 田 隆 一	学校法人神奈川大学
委員	豊 田 耕 三	学校法人立命館
委員	山 田 憲 男	学校法人日本女子大学

第 5 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	鳥 井 幸 雄	学校法人早稲田大学
委員	新 井 伊 佐 男	学校法人東京理科大学
委員	永 代 達 三	学校法人明治大学

第 6 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	橘 昇	学校法人工学院大学
委員	尾 浪 英 人	学校法人学習院
委員	山 下 利 彦	学校法人同志社

第 7 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	平 井 雪 恵	学校法人立教学院
委員	道 上 裕 之	学校法人東洋大学
委員	宮 直 仁	宮直仁会計士事務所

第 8 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	杉 崎 正 彦	学校法人國學院大學
委員	根 本 和 彦	学校法人津田塾大学
委員	吉 田 民 武	学校法人根津育英会 武蔵学園

平成25年度 大学評価委員会 再評価分科会名簿

役名	氏 名	大 学 名
主査	清 水 一 彦	筑 波 大 学
委員	梅 垣 邦 胤	名 城 大 学
委員	境 忠 宏	淑 徳 大 学
委員	野 村 芳 正	千 葉 大 学
委員	三 浦 俊 二	東 北 福 祉 大 学
委員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委員	松 本 香	公認会計士松本香事務所

平成25年度 異議申立審査会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
審査長	勝 野 眞 吾	岐 阜 薬 科 大 学
委員	植 木 俊 哉	東 北 大 学
委員	岸 田 昌 浩	九 州 大 学
委員	滝 澤 正	上 智 大 学
委員	千 葉 吉 裕	全 国 高 等 学 校 会 進 路 指 導 協 議 会
委員	福 島 優 子	福 島 優 子 公 認 会 計 士 事 務 所
委員	山 下 善 久	山 下 法 律 事 務 所

平成25年度 追評価分科会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	圓 月 勝 博	同 志 社 大 学
委員	上 田 晴 久	星 薬 科 大 学
委員	水 上 元	名 古 屋 市 立 大 学
委員	山 崎 そ の	京 都 外 国 語 大 学

平成 25 年度 大学評価のスケジュール

2013（平成 25）年度 大学評価は以下の手順でとり行った。

2013 年	1 月 15 日	申請大学より大学評価申請書の提出
	4 月 1 日	申請大学より大学評価関連資料の提出
	4 月 5 日	第 24 回大学評価委員会開催（平成 25 年度大学評価に関する検討）
	4 月 22 日	第 1 回大学財務評価分科会の開催
	5 月 8 日	評価者研修セミナーの開催（平成 25 年度の評価の概要ならび
	～10 日	に主査・委員が行う作業の説明）
	5 月中旬	主査ならびに委員による申請大学に対する評価所見の作成
	～7 月上旬	
	7 月下旬	分科会報告書（原案）の作成（各委員の評価所見の統合）
	～8 月	大学評価各分科会の開催（分科会報告書（案）の作成）
	7 月 30 日	第 2 回大学財務評価分科会の開催
	8 月下旬～	分科会報告書（案）の申請大学への送付
	9 月下旬	各申請大学に対する実地調査の実施、
	～10 月	その後、分科会報告書の完成
	11 月 12 日	第 3 回大学財務評価分科会の開催
	11 月 24 日	第 10 回大学評価委員会正・副委員長・幹事会の開催（分科会報
	～25 日	告書をもとに「評価結果」（委員長案）を作成）
	12 月 13 日	第 25 回大学評価委員会の開催（「評価結果」（委員長案）の検討）
	～14 日	
	12 月下旬	「評価結果」（委員会案）の申請大学への送付
2014 年	2 月 19 日	第 26 回大学評価委員会の開催（大学から提示された意見を参
		考に「評価結果」（委員会案）を修正し、「評価結果」（最終案）
		を作成）
	3 月 11 日	第 484 回理事会の開催（「評価結果」（最終案）の承認）
	3 月 26 日	異議申立趣意書及び異議申立理由書提出（1 大学）
	4 月 22 日	第 1 回異議申立審査会
	6 月 5 日	第 2 回異議申立審査会
	6 月 16 日	第 3 回異議申立審査会
	7 月 18 日	第 487 回理事会の開催（異議申立審査報告書（案）の承認と修正）

【資料4】

平成25年度 大学再評価のスケジュール

2013（平成25）年度 大学再評価は以下の手順でとり行った。

2013年	6月19日	第1回再評価分科会
	6月28日	再評価改善報告書提出
	7月中旬	主査ならびに委員による申請大学に対する再評価所見の作成
	～8月下旬	
	9月11日	第2回再評価分科会
	9月25日	実地調査（神戸医療福祉大学大阪キャンパス及び日本経済大学神戸三宮キャンパス）
	10月2日	実地調査（第一薬科大学福岡キャンパス及び日本経済大学福岡キャンパス）
	10月4日	実地調査（日本経済大学渋谷キャンパス）
	11月6日	ヒアリング（6大学）・第3回再評価分科会 その後、分科会報告書の完成
	11月24日	第10回大学評価委員会正・副委員長・幹事会の開催（分科会報告書をもとに「評価結果」（委員長案）を作成）
	～25日	
	12月13日	第25回大学評価委員会の開催（「評価結果」（委員長案）の検討）
	～14日	
	12月下旬	「再評価結果」（委員会案）の申請大学への送付
2014年	2月19日	第26回大学評価委員会の開催（大学から提示された意見を参考に「再評価結果」（委員会案）を修正し、「再評価結果」（最終案）を作成）
	3月11日	第484回理事会の開催（「再評価結果」（最終案）の承認）
	3月26日	異議申立趣意書及び異議申立理由書提出（3大学）
	4月22日	第1回異議申立審査会
	6月5日	第2回異議申立審査会
	6月16日	第3回異議申立審査会
	7月18日	第487回理事会の開催（異議申立審査報告書（案）の承認と修正）